



みてみて 回覧

湖南公民館だより
No 59 (公民館ホームページ)



令和4年3月9日(水)発行
郡山市湖南町福良字家老9390-4
電話・FAX 024-983-2543
発行責任者 館長 佐藤 忠男

郡山市明るいまちづくり推進運動 標語・川柳コンクール 2月

<小中学生の部> 佳作 出品ありがとうございました。

すすきをね	かきわけともだち	おいかける	4年	さん
おもいやり	優しい心	うれしいな	5年	さん
あいさつは	みんなのえがおに	つながるよ	6年	さん
妹と	プリンを賭けて	にらめっこ	7年	さん
ひまなとき	家族とともに	ランニング	8年	さん
あいさつは	世代を超える	おまじない	9年	さん

<一般の部> 佳作 出品ありがとうございました。

コロナ禍で	心のふれあい	夢育ち	さん
老夫婦	おれ達若く	ガンバロな	さん
老いてなお	土とふれあい	夢描く	さん
優しい心と	素敵な	笑顔	さん
手をつなぐ	君の笑顔に	広がる輪	さん



湖南の民俗 横沢の小正月行事「アカヤクワン」

「アカヤクワン」は、全国でも珍しい行事で、最近まで行われていた。才の神の燃やす脇で木の枝に綱を掛け、その端に石油を注いだ大きなわら束を結びつけ、ヨーイサ、ヨーイサと引いては落とす。すると、火の玉となった火炎が、パワー、パワーと音を立てて舞い上がる。妖気迫る火の玉奇習だ。この仕掛けは、二十五歳の厄年の人たちが奉仕する。一説に、この行事は妖怪退散のために始まったと言われる。村内に万延元年の巨木調べにあるシダミの木の大木が二本あり、この木が茂って昼なお暗いような樹上に夜な夜な火の玉が燃え、村人が不吉な予感に怯え夜毎悩まされた。この妖怪退散に、この火の玉に負けない火の玉をと「アカヤクワン」を行ったところ、怪物の火の玉は現れなくなった。それ以来、横沢では十四日の厄落としと悪魔よけにこの行事を行っている。

※シダミの木はナラの木の別称。

(湖南民俗研究所)





令和3年度 冬季 公民館主催事業報告

健康教室



きらり☆ウーマン



ストレッチ体操



椅子で座って行う体操



クリスマスのリース作り



親子体験教室

ふるさと・ 良いところ学級



アイシングクッキー作り



書き初め教室



正月飾り「しめ縄」作り

福良分館事業「盆踊りの太鼓の叩き方」7月24日(土)

赤津分館事業「赤津ゆかりの画家 土橋醇 氏について学ぼう」1月16日(日)



「希望の星」1977年 油彩 鉄板・板
200.0cm×500.1cm

来年度の盆踊りに向け、福良盆踊り保存会の方々が中心となって、小中学生に、太鼓の叩き方や笛の吹き方を教えました。(写真左)

郡山市立美術館長を講師に迎え、土橋醇 氏について話を聞きました。また、旧赤津小学校体育館にある、土橋醇氏寄贈絵画「希望の星」を鑑賞しました。(写真右)